

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、本土側現道の測量と予備設計を行っています。

～「第4回 気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」を開催しました～

大島架橋事業を機会に、将来の大島振興について地域住民や産業団体などの方々と行政が協力して、意見交換や課題の検討などを行う場としての「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の最終回となる第4回目が下記のとおり開催されました。

記

日 時 平成22年3月14日（日） 午後2時～午後4時まで

場 所 気仙沼市立大島公民館大集会室

内 容

1 開 会

2 挨拶 実行委員会委員長 菅原 昭彦 氏

3 他地域における架橋の事例紹介

気仙沼市議会大島架橋・唐桑最短道建設促進特別委員会

（平成21年度行政視察概要記録）

4 今回のテーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の役割分担」について

5 意見交換

6 懇談会をふりかえって

7 閉 会

一般来場者 約100名

委員長あいさつ



特別委員会による報告



懇談会の状況



参加者との意見交換



(開催内容)

(1) 他地域における架橋の事例紹介（菅原博信市議会議員）

気仙沼市議会大島架橋・唐桑最短道建設促進特別委員会（以下「特別委員会」という。）
（平成21年度特別委員会行政視察概要記録）

特別委員会より、平成21年度行政視察における、平成20年11月に完成した広島県安芸灘諸島に浮かぶ豊島と上蒲刈島を結ぶ豊島大橋の事業概要や、安芸灘諸島の地域振興、架橋後の変化などについての報告、さらに、(財)日本離島センターへの視察結果として、全国の離島の状況や、架橋後のメリット・デメリットの事例などの紹介があり、最後に、「架橋による地域振興を成功させた地域事例は、架橋前から対策が講じられていた。」と報告されました。

会場からは、架橋によるメリットを教えて欲しいなどと言った質問があり、菅原市議より、「医療体制の充実」や「通勤、通学の利便性の向上」などの回答がありました。

(2) 実行委員会活動報告（佐々木委員：宮城県気仙沼地方振興事務所企画部長）

第7回実行委員会（平成22年1月28日）及び第8回実行委員会（平成22年2月22日）において、議論された内容、検討結果について報告がありました。

(3) 今回のテーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の役割分担」について

（熊谷委員：気仙沼市企画部長）

前回、第3回懇談会までに整理された、「交通：交通環境の変化への対応」、「生活環境：住みよい環境づくり」、「安全：生活安全上の不安解消」、「自然：大島らしさの維持」及び「地域振興：気仙沼地域のさらなる振興」の5分野の、それぞれの課題と対応策を基に、気仙沼市、県地方振興事務所、県土木事務所、関係団体及び住民に区分された役割分担表が提示されました。

また、今後は、これらの対応策を検討し、取り組んで行くこととなりますが、それぞれの対応策について、進捗状況を把握し、住民の皆さんに報告していくことが必要となることから、平成22年度より、新たな組織として、「(仮称)気仙沼大島振興推進会議（以下「推進会議」という。）」を設立することになりました。

推進会議には、「地域振興部会」、「生活基盤整備部会」、「生活安全部会」及び「産業振興部会」の4つの専門部会を設置する予定で、懇談会で整理された5分野、27対応策を各専門部会に振り分け、具体的な検討を行っていくことになりました。

推進会議は、平成22年7月頃、地域振興部会、生活基盤整備部会及び産業振興部会は8月頃を目標に設置をする予定で、生活安全部会については、その内容から平成28年4月までに設置する予定です。

（詳細については、次ページ以降を参照願います。）

(4) 意見交換

（一般来場者からの意見）

○ワークショップや勉強会などを開いて、有識者の意見を取り入れながら、住民主体で課題解決に取り組んでいく必要がある。

○課題を解決していく上で、環境保全にもっと重点をおいて検討して欲しい。

○昔ながらの大島の良さ、日本の良さをどう残していくかも検討して欲しい。

○急病人が出た時の救急搬送が、患者への負担もかかり、人命に関わる。一日でも早い、架橋実現を要望する。

○その他、大島架橋の事業の概要や本土側の取付道路に対する質問などが寄せられました。

(5) 懇談会をふりかえって

懇談会が、今回で最後となることから、これまで開催された懇談会の内容について、事務局より、時系列的に報告がなされました。

その後、各実行員より、これまでを振り返った感想などが述べられ、「若い世代の参加者が少なかったことが残念だ、皆さんからも声掛けをお願いしたい」、「課題解決に向けた取り組みについて、住民への浸透に不安がある、積極的な参加をお願いしたい」などの意見がありました。

また、委員長からは、「これまで皆さんが行ってきた架橋に向けた運動を、声をきらすことなく、これまで以上に頑張ってもらいたい」、「大島振興は、気仙沼市、宮城県にとっても大きな振興策だという気持ちで励んで欲しい」、「これから対応策を検討していく上で、直接、皆さんに関わる課題があるので、自発的に参加して欲しい」と述べられました。

○「大島振興と架橋を考える上での課題の役割分担」について

「(仮称)気仙沼大島振興推進会議」及び「専門部会」については、次のとおりです。

「課題の対応策」に関する役割分担について

『新組織の設立』

新組織の設立

気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会実行委員会

解決すべき課題

- 交通環境の変化への対応
- 住みよい環境づくり
- 生活安全上の不安解消
- 大島らしさの維持
- 気仙沼地域のさらなる振興

平成22年度

組織の移行

(仮称)気仙沼大島振興推進会議

専門部会 (仮称)気仙沼大島振興推進会議に4つの専門部会を設置します。

1. 地域振興部会
2. 生活基盤整備部会
3. 生活安全部会
4. 産業振興部会

新しい組織イメージ



課題に関する対応組織

(仮称)気仙沼大島振興推進会議

◆役割

- ① 専門部会の組織に関する事項の決定を行う。
- ② 専門部会の進行管理を行う。
- ③ 市民へ定期的に進行状況を報告する。
- ④ 各部会間の調整を行う。
- ⑤ 必要に応じ専門部会へ助言等を行う。

◆メンバー

人数 : 12名を基本とする。

(内訳) 有識者 2名
住民 4名
宮城県 2名
気仙沼市 4名

専門部会

解決すべき課題を4つの専門部会で継続的に検討します。

1. 地域振興部会
2. 生活基盤整備部会
3. 生活安全部会
4. 産業振興部会

◆役割

- ① 具体的な取り組み内容及び検討手法の決定を行う。
- ② 具体の検討等を行う。
- ③ 推進会議へ取組状況の報告を行う。

◆メンバー

- ① 各部会の構成する人数等は推進会議で定める。
- ② 各部会には、部会長及び副部会長を置く。

◆地域振興部会

【担当区分】

課題の対応策	気仙沼市	県地方振興事務所	県土木事務所	関係団体	市民	関係団体例	活動時期		
							前期	中期	後期
●交通③ ：交通施設の整備 / 駐車場の整備	○	○	○	○	○	観光協会など	●		
●生活環境④ ：地域一体化への意識向上 / コミュニケーションの機会の創出	○			○	○	振興協議会など	●	●	
●生活環境⑤ ：医療体制の維持	○			○	○	県保健福祉事務所、医師会など	●	●	●
●安全② ：住民・自治会の組織化	○			○	○	自治会連合会など	●		
●地域振興① ：(離島振興法上の) 優遇措置廃止による影響の理解・周知	○	○		○	○	振興協議会など	●		
●地域振興② ：(離島振興法上の) 優遇措置廃止前の積極的な事業整備	○	○	○	○	○	振興協議会など	●		
●地域振興⑤ ：地域外からの定住者の増加促進	○			○	○	振興協議会など	●		

◆生活基盤整備部会

【担当区分】

課題の対応策	気仙沼市	県地方振興事務所	県土木事務所	関係団体	市民	関係団体例	活動時期		
							前期	中期	後期
●地域振興② ：(離島振興法上の) 優遇措置廃止前の積極的な事業整備	○	○	○	○	○	振興協議会など	●	●	●
●交通② ：交通施設の整備 / 道路・歩道の整備	○		○	○	○	警察署など	●	●	

◆生活安全部会

【担当区分】

課題の対応策	気仙沼市	県地方振興事務所	県土木事務所	関係団体	市民	関係団体例	活動時期		
							前期	中期	後期
●交通① ：交通安全意識の向上(講習会の実施等)	○	○	○	○	○	警察署・交通安全協会など			●
●交通④ ：交通施設の整備 / 交通安全施設	○		○	○	○	警察署・交通安全協会など			●
●交通⑤ ：交通取締りの強化	○			○	○	警察署			●
●安全① ：個人の防犯意識の向上	○			○	○	防犯協会など			●
●安全③ ：防犯対策の強化	○			○	○	警察署 防犯協会など			●
●安全④ ：犯罪の知識・情報の共有	○	○	○	○	○	警察署 防犯協会など			●

◆産業振興部会

【担当区分】

課題の対応策	気仙沼市	県地方振興事務所	県土木事務所	関係団体	市民	関係団体例	活動時期		
							前期	中期	後期
●交通⑥ ：公共交通機関の充実	○			○	○	ミヤコーバスほか			●
●交通⑦ ：客船の存続	○			○	○	大島汽船など	●	●	●
●生活環境① ：ゴミ対策 / マナーアップの推進	○	○	○	○	○	観光協会など			●
●生活環境② ：ゴミ対策 / ゴミの適正処理	○			○	○	衛生処理組合など			●
●生活環境③ ：マナーアップ活動の実施	○		○	○	○	振興協議会など			●
●自然① ：開発の規制・制限	○		○		○		●	●	●
●自然② ：体験学習によるPR活動	○	○		○	○	観光協会など			●
●自然③ ：特産物の考案・PR活動	○	○		○	○	商工会議所など			●
●自然④ ：自然を活かした観光スポットの整備	○	○	○	○	○	観光協会、県観光課など			●
●自然⑤ ：景勝地などのバトロールの実施	○	○		○	○	観光協会など			●
●地域振興③ ：就業先の確保・企業誘致活動	○	○			○				●
●地域振興④ ：観光等積極的なPR活動	○	○		○	○	観光協会など			●
●地域振興⑥ ：起業家の育成	○	○		○	○	商工会議所・連協など	●		●

活動スケジュール

		前期			中期			後期			架橋後
		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
(仮)気仙沼大島 振興推進会議		推進会議の設置 (H22.7予定)									
専 門 部 会	地域振興部会	部会の設置 (H22.8予定)									架
	生活基盤整備 部会	部会の設置 (H22.8予定)									橋
	生活安全部会							部会の設置 (H28.4予定)			
	産業振興部会	部会の設置 (H22.8予定)									

大島架橋についての「お問合せ」は こちらまで
宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesennuma.lg.jp